



## 別所線電車の存続について

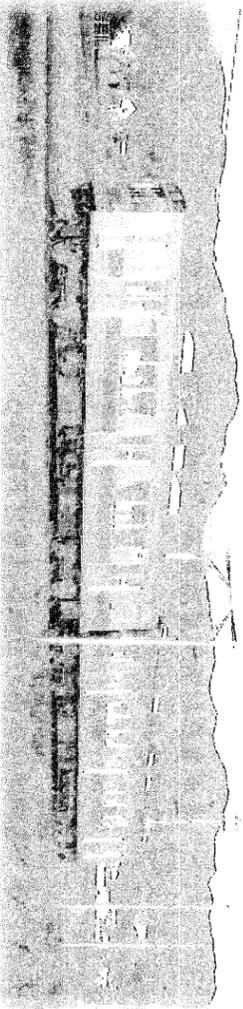
—別所線電車は地域の宝・かけがえのない文化財—

塩田平の田園地帯を走る別所線電車は、乗客が少なくなり、その存続が危ぶまれています。

このような状況を打破するために、別所線電車存続期成同盟会、塩田地区自治会連合会をはじめとする各種の団体、グループが存続の支援活動を行っています。塩田地域協議会も例外でなく存続を願って活動を続けています。

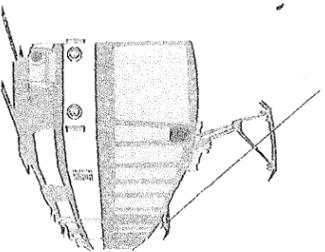
2003年に存続問題が浮上してから6年間にわたり、上田市では約5億4200万円の支援をしてきましたが、それも大変な時期に来ているようです。このような状況を踏まえて地域協議会では、昨年11月18日、本年度以降も存続できるように、支援を続けていたきたい旨上田市長に意見書を提出しました。

また、地域住民の利用状況等を把握するため、早々に別所線電車についてのアンケート調査を実施したいと計画しています。



別所線電車利用者として数10年、別所線とともに塩田平で生活してきたことを考えると大切なかけがえのない電車に対する思いもひとしおです。

地域の生活手段としての電車。地域の宝である別所線電車がいつまでもいつまでも存続できるように「乗って残そう別所線」という意識をみんなで作ちながら、運動を続けていきたいものです。



## 塩田平礼所めぐりについて

安楽寺住職 若林恭英

今年度より、「上田市わかまち魅力アップ応援事業」の一環として、「塩田平四国霊場礼所めぐり」が塩田地域協議会の後押しを受け実施されています。

それは、今から三百年ほど前、江戸時代は元禄のころ塩田平二十一ヶ村に四国八十八ヶ所の仏様をお迎えしたことに始まります。信心深い当時の人びとが心の支えとしていたことでしょう。今に残るそれら仏像の姿に往時の人びとの祈りを感ずることができます。

そこで、まず地元の皆様には、この塩田平礼所めぐりの魅力を知ってもらうため、7月26日に講演会を実施しました。講師に『十五歳のお遍路』の著者、岡田光永さん(20歳)を迎え、15歳のとき四国八十八ヶ所霊場を巡った経験をお聴きました。岡田さんは中学一年から三年間不登校になり、15歳の夏、以前から関心のあった四国遍路に旅立ったそうです。途中、遍路浴いの人たちに助けられながら57日かけて巡り終わったとき、他人の心の優しさを感じ自分をみつめ直すことができ、学校にもどることを決意したそうです。その後、高校三年生では生徒会長をつとめ、現在は大学で小学校の教諭をめざして勉学中のことです。「礼所めぐり」での出会いを通して自らが成長でき、さらに助け合うことの大切さを学んだそうです。

四国と較べればミニ版ですが、歩くことで住み慣れた土地でも新たな発見ができ、小さな心の旅を楽しむことができます。さて、あなたの近くの礼所はどこか、ご存知でしょうか。



講演中の岡田さん

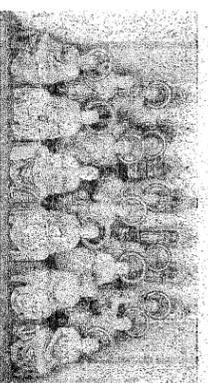
### 【塩田平礼所めぐり一覧】

一番下之郷長福寺、番外下細観音堂、番外中細西光寺、二番町屋観音堂、番外奈良尾大圓寺、三番平井寺地藏堂、四番鈴子薬師堂、五番石神釈迦堂、六番柳沢青龍寺、七番十人薬師堂、八番東前山前山寺、九番東前山龍光院、十番西前山中禅寺、十一番新町観音堂、十二番山田満願寺、十三番手塚無量寺、十四番野倉瑞光寺、番外別所六湯薬師堂、客番別所北向観音、十五番別所安楽寺、十六番八木沢法輪寺、十七番舞田法樹院、十八番保野龍昌院、十九番保野林法院、二十番中野滝澤寺、二十一番五加真光寺

\*途中の礼所への行き来は別所線電車やシャトルバスを使うと便利です。

\*今春の礼所めぐり予定。4月19日西塩田・別所コース。4月29日中塩田コース。5月1日東塩田コース。

《問い合わせ先 下之郷「長福寺」(38-3029)》



四国霊場勧誘仏、最上段(安楽寺)